

第 2 次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

事業名	令和7年度アーティスト・イン・スクール				
担当課	文化課	担当者	榊原・益子	連絡先	2888

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム
最も該当する施策	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム
関連目標・施策	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム

事業の概要

開催年度	令和6年度		
開催経緯	市内での若手アーティスト活動の場の創出、アートを通じた市民の施設利用の促進、展覧会場近隣施設の連携、将来のアーティスト育成を目指し、令和6年度より開催。		
事業目的	本事業では、児童生徒が鑑賞から制作、展覧会までをアーティストと共に経験できるプログラムとなっている。制作した作品を公民館という身近な場所で展示することで、児童にはアートを身近に感じてもらうとともに、展覧会場となる施設に愛着を持ってもらい、将来的な利用に繋げることを目指す。 また、講師を依頼するアーティストは、市にゆかりのある作家はもちろんだが、市外で活動するアーティストにも講師となってもらい、市のことを知って貰いながら展覧会を作りあげることで、新たに市との縁を作ってもらうことを目的とする。 そして、展覧会場となる公民館では関連イベントを実施し、対象の児童生徒だけでなく、一般来場者がアーティストと関われる機会をつくる。また、施設周辺にある商業施設にも協力してもらい、講師作品を展示してもらうことで、地域全体でアートに触れられる機会をつくり「アートでつながるまち」の実現を目指す。		
定性目標	・児童生徒がアーティストと共に鑑賞・制作・展示を経験する機会を創る。 ・地域住民の身近な施設で展覧会を行い、アートに触れることで、市で行われるアートに関心をもって貰い、今後の活動への参加を促す、というアートを通じて人とまちを繋げる。 ・若手作家や市で活動の場を探すアーティストの活動機会を創出する。		
定量目標	・目標の来場者数を達成する		
対象	地域住民		
事業内容	・アーティストが講師となり、小中学校1校1学年で授業を行う。授業では、鑑賞、作品制作、展覧会見学会を実施し、成果物は市内施設にて展示を行う。 ・展覧会期中には関連イベントとして一般を対象にした講座やアーティストトークを実施。また、展示会場周辺の商業施設に作家作品を展示する。		
実施主体	文化課	市との関わり	主催
情報発信	■ 広報ふなばし ■ Facebook	■ HP □ X	■ チラシ ■ ポスター ■ その他（文化課Instagram）

第 2 次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

経年

年度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算)	令和8年度 (予算)
事業費＝決算額	0	0	582,520	730,286	0
市予算			582,520	730,286	
補助金・協賛金等					
その他（ ）					
人工（常勤職員）			2	2	
人工（会計年度任用職員）			2	2	
その他人工（公民館・他施設）			2	3	
定量目標値			入場者数2,000人	入場者数1,000人	
定量目標値の設定根拠			展示会場がロビーであることから、普段の利用者数・会期・会期中のイベント（選挙）等をふまえて設定	対象校の児童数、会期と会期中のイベント（公民館文化祭）、普段の利用者数をふまえて設定	
定量実績値			3,000人	3,000人	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇%			来場者数3,000人 アンケート回答数77人 アンケート回収率2.5%	来場者数3,000人 アンケート回収数67人 アンケート回収率2.2%	
事業内容 ※現年度は計画			アーティスト・イン・スクール授業 1月28日(火)、2月4日(火)、6日(木)、18日(火)、3月6日(木) 作品展「HOME－思い出と未来が集う場所－」 【会期】令和7年2月23日(日)～3月15日(土) 【会場】高根台公民館3階ホール	アーティスト・イン・スクール授業 9月9日(火)、12日(金)、16日(火)、10月3日(金)、11月13日(木) 作品展 【会期】令和7年11月1日(土)～11月16日(日) 【会場】小室公民館1・2階ホール	
定性目標の実績について 経緯・変遷	初年度同様、アンケート回答者の約9割が展覧会に満足と回答。来場者からは「小室でこのような作品を見ることができて嬉しい」という感想が多くあがり、地域のことを考える作品と出合える場所や機会の重要性を再認識できる事業となった。また、関連イベントとして前年度開催地である高根台公民館と、小室児童ホームの2箇所でもワークショップを行い、未就学児から大人までの広い世代がアートに触れられる機会を創出することができた。展覧会には、家族や友人と複数回来場する児童も多く、事業を通じて公民館をより身近な施設と感じられる機会を創出した。				
自由記述 (これまでの欄で書き切れない内容・特に推したい年度の事業PR・補足説明等、自由に記入する。)	●アンケート回収数：67枚（展覧会：32枚、イベント35枚） ※アンケートの設置場所が前回よりも分かりにくかったことが減少の原因と考えられる。 ●イベント参加者数：50名				

第 2 次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

事業評価

評価対象年度	令和7年度
評価実施年度	令和8年度

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 □	2 □	3 ■	4 □	5 □
	評価理由	来場者の感想からは、児童・アーティストの作品を地域で見ることに喜ぶ声が多く上がったことから、地域に求められる事業を実施出来た。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 ■	5 □
	評価理由	来場者数が目標を大きく達成したため。				

文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと (何が課題か、どのような助言 を求めたいか、明確に記入する こと)	課題				
	昨年度、市議会で教育の体験格差の観点から「年間1校程度の実施だったが、8年度からはさらに展開が図れるのか」という質問があり、マンパワーとの関係から検討事項となっている。 また、毎年会場となる公民館が変わるので、施設によって展覧会の出来る場所の広さやつくりが異なること、施設ごとのルールがあるため、展覧会の質を保ちながら実施することが課題となっている。				
	求めたい助言				

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案	
---------------------------------	--

フォローアップ

今後の対応 (文化振興推進協議会委員によ る二次評価を受けての対応を記 入してください。)	
--	--

対応の結果 (今後照会予定です。無理に結 果を作り出す必要はありません。 結果が出た場合のみ記入し てください。)	
---	--